



コザスタートアップ商店街のご紹介

Koza Startup Arcade運営委員会

自己紹介



豊里 健一郎 / Kenichiro Toyosato



[フォーシーズ株式会社]



[津梁ファンド]

沖縄県沖縄市出身。留学、就職と15年間の海外経験を経て、2017年に現フォーシーズ株式会社を設立し、起業家支援を開始。創業支援、人材育成、コミュニティ運営等、沖縄のスタートアップ支援の中核拠点を運営し、沖縄とアジアを繋ぐスタートアップエコシステムに貢献。沖縄県「おきなわスタートアップ・エコシステム・コンソーシアム」では、経済資本部会長として沖縄発スタートアップの支援体制の整備に従事。

2019年 沖縄市創業支援施設「Startup Lab Lagoon」運営開始

2021年 沖縄スタートアップエコシステム 運営開始

2022年 コザスタートアップ商店街 設立

2023年 沖縄スタートアップエコシステム経済資本部部長 就任
中小機構 スタートアップアドバイザー 就任 (24年退任)

2025年 **独立系VC 津梁ファンド組成**





イノベーションは、すでに整った場所よりも
多様な価値観と人が混ざり合う、少しカオスな場所から生まれる。



完璧に整った環境では、新しい価値は生まれにくい。
同じ属性や考えの人たちが、
すでに定義された“正解”の中に閉じ込められてしまうから。



一方で混ざり合う場所には、
思想やスタイルの違いが交わり、偶然が重なって、
思いもよらない挑戦や文化が生まれていく。



音楽、アート、ビジネス、ストリートカルチャー
異なる世界が重なり合うその瞬間に、
次の時代を動かすエネルギーが生まれる。



コザは、まさにその“混ざり合いの舞台”



KSAとは？



KSA (Koza Startup Arcade) は、コザの街に根づく多様な挑戦者たちが
交わり、刺激し合い、そこから新しい挑戦が次々と生まれていく場所。

コザ一番街商店街の一部エリアに、オフィスやスタジオ、カフェ、
ギャラリーなどが集積し、起業家、アーティスト、学生、エンジニアなど、
それぞれが違う目的を持ちながら、同じエリアを行き交う。

その雑多で自由な空気の中で、偶然の出会いやつながりから、
新しい挑戦が日々生まれている。

KOZA
STARTUP
ARCADE

2016～2018

STARTUP CAFE KOZA

福岡市の起業支援施設「STARTUP CAFE」の沖縄展開がきっかけとなり、沖縄市創業支援事業としてスタート

ver1



2019～2021

Startup Lab Lagoon KOZA

沖縄独自の創業ブランド「Lagoon」へとリブランディング。起業やテック系イベントを3日に1回は開催し、県内外から認知を得る

ver2



2022～

KSA (Koza Startup Arcade)

Lagoonだけでなく周辺に関連したオフィスや店舗展開が広まり、商店街全体のプロジェクトへ

ver3



コザとは？



コザは、沖縄市の中心エリアに位置する異国情緒あふれる街

沖縄本島中部に位置するコザは、嘉手納基地の門前町として発展してきた街。戦後、米軍関係者と地元住民が行き交い、アメリカ文化と沖縄文化が自然に交差した。その結果、音楽・食・ファッション・言葉—あらゆる面で独自の文化が育まれ、わずか数百メートルのエリアに、ライブハウス、飲食店、スケートパーク、ギャラリー、オフィスが隣り合う、多様性あふれる街となった。

時代も国も超えてミックスされた独特の文化が生きるコザには、
意志ある挑戦者を後押しし、イノベーションを生み出す土壌がある。



挑戦の街としての歴史

コザは、戦後に嘉手納基地の門前町として生まれた街。

何も無い土地に全国から人が集まり、基地経済とともに発展してきた一方で、「基地がなければ街が成り立たない」という現実と常に向き合ってきた。

そんなコザには、多くの“挑戦の物語”がある。

1950年代、基地経済に依存していた時代に、商工会の若者たちは「文化の力で街を元気にしよう」と立ち上がり、全島エイサーコンテストを開催。

「自分たちの文化で街を立て直す」という挑戦が、今も続く“挑戦のDNA”の原点となった。

1970年代には、ライブハウスやロック喫茶から“コザロック”が生まれ、世界基準のサウンドを持つアーティストたちが街から羽ばたいていった。

そして今、その挑戦の精神はKOZAROCKSやKSAとして受け継がれ、音楽・アート・ビジネス・テクノロジーが混ざり合い、未来へとつながる挑戦を生み出している。



ビジョン

コザから世界へ、100年つづく挑戦の文化を

ミッション

挑戦の循環をつくり、新しい産業と文化を生み出す

KSAが描く挑戦の循環

① Encounter | KSAと出会う

イベントやSNS、人づてを通じて多様な挑戦者がコザ・KSAに触れる。小さな興味から、新しい挑戦の火種が生まれる。

⑥ Inspire | 次の挑戦者を呼び込む

形になった挑戦を見た誰かが「自分もやってみたい」と動き出す。こうして挑戦が挑戦を呼び、街に新しい循環が生まれる。

⑤ Go Beyond | 挑戦が境界を越えていく

コザで育った挑戦が、日本やアジア、世界へと広がり始める。外の世界で得た経験や出会いが、新たな機会を連れて街へ戻ってくる。

④ Boost | 外からの力で挑戦が加速する

企業・投資家・行政・ファンなど外部の人や資源が流れ込み、挑戦を後押しし、次のステップへの推進力となる。

② Mix | 関わり、混ざり合う

スタートアップ、クリエイター、飲食、学生などが交わり、異なる価値観の出会いから、新しい挑戦のきっかけが生まれる。

③ Grow | 挑戦が育ち始める

出店や作品制作、サービス提供を通じて挑戦が街に姿を現す。仲間・支援者とのつながりが増え、挑戦の芽が育っていく。



数字で見るKSA

KSAをきっかけに新しく生まれた
オフィス・店舗数

15 拠点

KSA関連施設に入居している
企業・個人数

約 100 社(人)

KSAで行われる
年間イベント数

120 回+

KSA関連施設への
年間訪問人数

10,000 人+

KSAにあるオフィス・店舗一覧

オフィス・コワーキングスペース



#起業・創業

Lagoon KOZA



#シェアオフィス

KSA Works



#創作スタジオ

KOZA BASECAMP



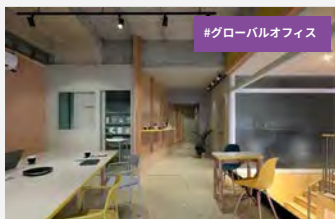
#新規事業開発拠点

X-BORDER KOZA



#サテライトオフィス

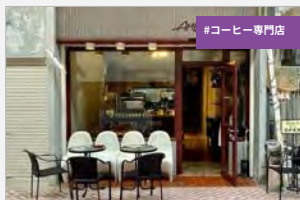
EBILAB沖繩オフィス



#グローバルオフィス

HOPE

飲食店・カフェ



#コーヒー専門店

AMBER HORIC.



#ソーシャルバー

Be² Bar



#シーシャバー

wardrobe

スクール・ホテル・ギャラリーなど



#オルタナティブスクール

琉究学舎こてらす



#大学受験塾

総合型選抜専門塾 GAL



#ゲストハウス

ARO HOTEL



#アートギャラリー

KOZA ENTREPRENEUR ART GALLERY



#呉服店

おやかわ呉服店



#起業・創業

#イベントスペース

Lagoon KOZA（ラグーンコザ）は、起業支援・コワーキング施設。
多様な人が集い、学びや挑戦を通して新たなつながりやビジネスが生まれる場として、創業相談や創業スクール、イベントなどを展開している。

輩出した創業者 ※

322 人

創業相談件数 ※

1512 件

※2021/4～2025/9の集計値

スタートアップラボ

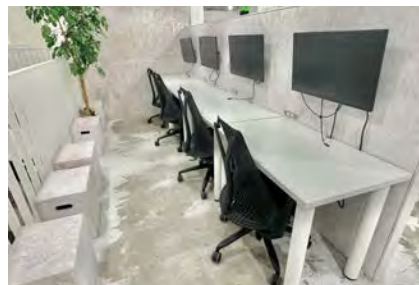
#法人設立
#ソーシャルビジネス

スタラボ

ゆるるばスクール

#女性・子育て世代
#個人事業主





KSA WORKS

#スタートアップ

coworkingスペース

スタートアップ起業家のグロース支援を行う coworkingスペース。1席から利用でき、初期コストを抑えて事務所を構えることができる。また、資金調達やマーケティングなど、事業成長に関する課題を解決するための相談窓口も設置。運営するFOURSEASは、シード期スタートアップ向けの投資ファンド「津梁ファンド」を運営している。

入居スタートアップ数

約 **30** 社



#教育 #EdTech



#陸上養殖 #AI



#スポーツ #ウィンターリーグ



BASECAMP

#クリエイター

#コミュニティスペース

KOZA BASECAMPは、デザイナー、映像、音楽、クラフト、SNS運用など幅広いクリエイターと地域のプレイヤーが集まり、創作から展示・販売までを実現できる多目的チャンプルー空間です。

BASECAMP MEMBER

約 **25** 名

スポンサー企業 4社 | イベント実施 8回/月 | コラボ 2回/年



クリエイター名： 松葉瀬リエ | アーティスト

いまの活動： 絵本作家

イベント活動： ワークショップ / 展示会開催



X-BORDER KOZA

#事業開発

#研修・合宿

#イベントスペース

X-BORDER KOZAは、地域・業種・人材の垣根を超えて共創する企業向け交流拠点です。来年創業100年の岡野バルブ製造の越境経験を活かし、新規事業創出や異分野連携の機会を提供。北九州・東京・沖縄の3拠点を活かした県内外の共創ネットワークで、企業の成長と事業拡大を加速します。

事例①沖縄セルラー電話様

業種：通信サービス業

課題：新規事業の取り組み、マインドセット、WS実施、他社交流

期間：1日

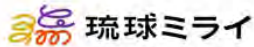
事例②東海バネ工業様

業種：製造

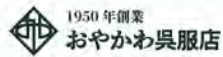
内容：製造業の新規事業開発を伴走し、課題整理・ビジネスモデル策定まで支援

期間：2か月+2泊3日合宿

挑戦を支えるコミュニティ



フェロー
兼城 駿一郎氏



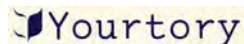
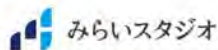
フェロー
嶋根 秀幸氏

KSAを運営する委員会メンバー

挑戦者たちを資金やネットワークで支える共創支援者



パートナー



旅をくらしに、地域を選びに

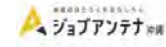
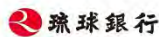
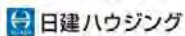


スタラボ

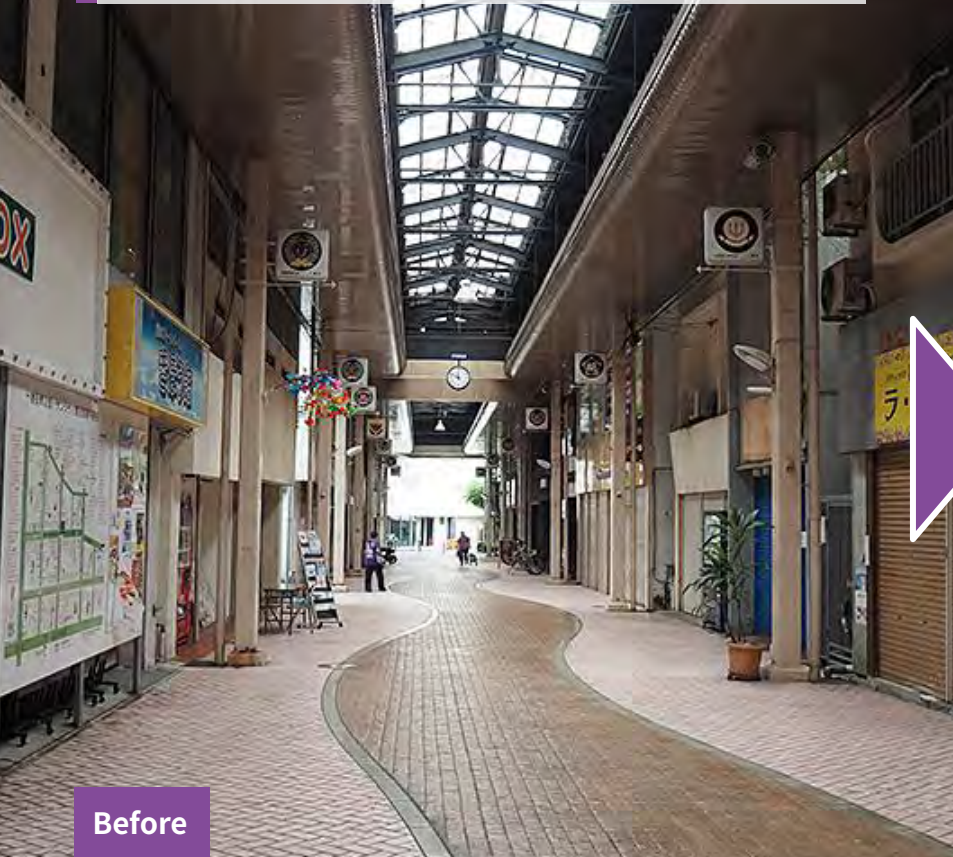


KSAに拠点を構えて事業・活動を行う挑戦者たち

KOZAROCKS 2025 協賛企業



KSAがもたらした街の変化：一番街商店街



Before

シャッターが並ぶ通り。昼も夜も人通りがほとんどなく、静か



After

新しい店舗や拠点が次々と誕生し、イベント時にはたくさんの人が

KSAがもたらした街の変化：Lagoon KOZA



Before

病院、ブティック、インテリアショップなど様々な歴史のある建物



After

若手起業家や学生の学びと挑戦の場となり、起業家を多数輩出

KSAがもたらした街の変化：X-BORDER KOZA



Before

空き店舗でしばらく使われていなかった商店街2階のスペース



After

新規事業開発に挑む事業会社の交流拠点に

活動紹介：KOZAROCKS

スタートアップとカルチャーが交わる、挑戦の祭典

KOZAROCKS

音楽とビジネス、カルチャーとテクノロジーが融合するコザ発の都市型カンファレンス&フェスティバル。2022年からスタートし、これまで5回開催。沖縄県内最大級のスタートアップカンファレンスで、国内外の挑戦者・投資家・企業が集う。



KOZAROCKS 2025の2日間の参加者数

延べ **5,000** 名

県外・海外からの
参加者比率

約 **57%**



トークセッション



ピッチアワード



展示ブース・マルシェ



交流会



ライブ・パフォーマンス



フード&カルチャー

活動紹介：KSA ROOTS MARKET



挑戦と応援が交差し、街に根づく文化を育てる

KSA ROOTS MARKET

商店街を舞台に、創業希望者・クリエイター・地域事業者などが自らのストーリーを込めた商品を販売するマルシェ。

来場者の応援が挑戦を育てる、新しい地域循環の形を表現する。

KSA ROOTS MARKET 2026

出店者数

30 組

来場者数

約 800 人+

活動紹介：KSA AWARD、KSA交流会

1年を通じて生まれた挑戦を称え、次の挑戦へつなぐ

KSA AWARD



年間で生まれたプロジェクト・サービス・アイデアを表彰し、関係者が一堂に会して1年を振り返るセレモニーイベント。KSAの「挑戦の循環」を可視化し、次の年へのバトンを渡す場。

KSAに関わる人がつながり、挑戦のきっかけを生む

KSA交流会



コザに関わる起業家、クリエイター、投資家、事業会社、学生などが一堂に集まり、立場を超えて交流するミートアップ。KSAの横連携を深め、共創のタネを見つける場。

KSAでのパートナーマッチング事例



行政書士法人ときわ



KSAメンバーである東南アジアと日本をつなぐオープンイノベーション・コミュニティ JSIP が、2024年に沖縄・コザに日本法人を設立。KSA を拠点とすることで、沖縄からアジア圏への発信力を強化しました。その際、KSAパートナーの行政書士法人ときわとマッチングすることで、法務・設立手続きなどのサポートを受けつつ沖縄拠点をスムーズに設立。このように、KSAは「外から来る挑戦」と「地域の専門性」をつなぐ場として機能し、拠点設立という現実の成果を生むプラットフォームとなっています。

参考：[JSIP、日本法人を沖縄に設立-日本と東南アジアを繋ぐイノベーションの社会インフラへさらなる進化を目指して](#)

Nulab Product Creation Program

nu source

その一滴で世界を変える



Nathanael Taylor Blackさん



KSAパートナーであるNu Source（ヌーソース）は、ヌーラボが運営する新規事業創出プログラムで、作り手のアイデアを募り、PoCやプロトタイピング、メンタリング支援を通じて、サービス実現を後押しします。このプログラムにKSAメンバーのNathanael Taylor Blackさんが参加し、多文化・多言語環境での協働を支援するプロダクトを提案。その独創性が評価され、「チームコラボレーション賞」を受賞しました。KSAに集う挑戦者が、街の外の舞台でも成果を生み出した象徴的な事例です。

参考：[#RAMENTECH2025 #ColiveFukuoka 『Nomad Tech Pitch』振り返り！創造はそれぞれの情熱から #NuSource](#)

KSAでの共創事例

MOTTAINAI
BATON



仙台育英学園沖縄高等学校



KSAメンバーのスタートアップ MOTTAINAI BATON と、KSAパートナーの仙台育英学園沖縄高等学校のアントレプレナー教育プログラム「iUP」がコラボし、廃棄されがちな地元の“食材”から、新しい商品を生み出しました。地域の食品ロスをテーマに、生徒がパッケージデザインから関わったレトルトカレー「南の島のシブイカレー」を開発。KSAのネットワークと教育の力が掛け合わさった、街と若者、事業がつながるひとつの形です。

参考：[冲高生が開発！シブイ（冬瓜）を活用した「南の島のシブイカレー」で健康と食品ロス問題に貢献！](#)

琉球物流
RYUKYU LOGISTICS



kapok



KOZAROCKS
2025 Conference&Festival



KOZAROCKSをきっかけに、琉球物流が保管していた“廃材パレット”を活用した共創プロジェクトが始動。コザでリノベーションを手がける KAPOK が、不要となったパレットを独自のデザインで再構築し、KOZAROCKS 2025 の大型装飾として制作しました。街の企業資源とクリエイターの技術が交わることで、廃材が新たな価値を持つ“プロダクト”へと生まれ変わった事例です。今後は商品化・販売も視野に入れており、コザ発のサステナブルなものづくりとして展開していきます。

KSA運営委員会



委員長

豊里 健一郎 氏

フォーシーズ株式会社 代表取締役



委員

常盤木 龍治 氏

岡野バルブ製造株式会社 取締役 DX推進本部長
株式会社EBILAB 取締役 ファウンダー
Okinawa Innovation Lab長 CTO / CSO



委員

親川 雅矢 氏

おやかわ呉服店 3代目



フェロー

嶋根 秀幸 氏

ファウストビート株式会社 代表取締役



副委員長

野中 光 氏

琉球ミライ株式会社 代表取締役



委員

田口 佳拓 氏

HEROES合同会社 代表



委員

小川 きぬ 氏

フォーシーズ株式会社 執行役員



フェロー

兼城 駿一郎 氏

株式会社みらいスタジオ 代表取締役

コザから世界へ、 100年つづく挑戦の文化を。

今の時代を生きる私たちが、
次の100年に向けてこの街に何を生み出していけるのだろうか。

その問いに対して、
「挑戦の循環をつくり、新しい産業と文化を生み出す」という答えを持って挑んでいきます。

かつて全島エイサーが文化の力で街を立て直し、
コザロックが表現の力で世界の扉を開いたように、

コザで生きる人々には、
世界を変えるほどのインパクトを残す挑戦の精神が宿っています。

この街で生まれた挑戦は海を越えて広がり、
やがてその熱はコザへと戻り、新しい芽が生まれてい
く――

そんな循環を100年先までつづく文化へ。

街の中に挑戦する人が日常的に集まり、互いに刺激しあい、支えあえる環境をつくる。
挑戦の力で、新しい産業と文化が生まれつづける街をつくる。

その循環はいずれ次の世代へと受け渡され、
未来のコザが「挑戦の街」として
世界に誇れる存在になることを目指します。